

入カシステムの改善点

システムの運用改善と全体的に「プログラムの構造」、「データ構造」、「セキュリティ強化」、「操作性」等について見直しを行い品質と操作性の向上を図りました。
 下記内容について改善いたしましたのでお知らせいたします。

●各種届出をFAXからWEB(メール)による届出変更

従来、FAXでお送りいただいた データの修正・PWの再発行等をHPからのご依頼ができるようになりました。
 2020/10/1(木)よりPUBDISホームページからご依頼の運用開始いたしました。
 これによりFAXでの受付は終了いたしました。
 2020/9/30 HPIにご案内掲載

データ修正に関する届出

The screenshot shows the PUBDIS homepage. At the top, there is a navigation menu with items like '公共建築賞', '発注者支援', '出版情報', '講習会 イベント', '材料・機材 評価', '設計者情報 (PUBDIS)', and '入会案内'. The main heading is '設計事務所様はこちら'. Below this, there are several service tiles. A red box highlights the 'データ修正を依頼する' button in the bottom left area. Other buttons include 'ログインIDをお持ちの方', '初めてご利用の方', 'お申込み等 事務手続きについて', '登録情報を検索する', and '技術者実績発行サービスを 申込み'.

The screenshot shows the 'PUBDIS データ修正を依頼する(設計事務所)' page. A red box highlights the section titled '該当するボタンをクリックしてください', which contains buttons for '事務所情報の修正', '自社の技術者情報の修正', '業務カルテの修正', '業務実績の修正', and '利用を中止したい'. Below this, there are sections for '事務所情報の修正' with steps for '届出書類の入手', '届出書類の準備', and '届出'. A yellow box highlights the '事務所情報の修正の 届出はこちら' button. At the bottom, a message states: 'データの修正が完了しましたら、PUBDISセンターよりメールでお知らせ致します。'

データ修正届出受付返信メール→データ修正→修正完了送信メール

パスワード再発行依頼

設計事務所様はこちら



ログインIDをお持ちの方

ログインする



初めてご利用の方
スポットでご利用の方
JV共同企業体の方

利用を申込み

パスワードを忘れた場合

[パスワードを忘れた場合](#)

サポートデスク（操作方法）
03-3523-9998

お申込みの流れ
[お申込みの流れ](#)
[事務カルテ登録までの流れ](#)

お申込み等 事務手続きについて
03-3523-0385

データ修正を
依頼する

登録情報を検索する
(年度利用の方限定)

技術者実績発行サービスを
申込み

設計事務所様はこちら

公共発注機関様はこちら

設計者情報 (PUBDIS)

お知らせ一覧

マニュアル

利用規約・規定(取扱・料金)等

PUBDIS 入力システムパスワード再発行依頼

パスワードを再発行しますので、以下に必要事項を入力して送信してください。

利用者様の情報

会社コード 必須 (例) 00009999

事務所名 必須 (例) 一般社団法人 公共建築協会

事務所名 (フリガナ) 必須 (例) コウキョウケンチクキョウカイ

担当者氏名 必須 (例) 協会 太郎
姓と名の間は、全角スペースを入れてください。

担当者氏名 (フリガナ) 必須 (例) キョウカイ タロウ
姓と名の間は、全角スペースを入れてください。

郵便番号 必須 (例) 100-1000

都道府県 必須

パスワード再発行受付返信メール→**内容ご確認**→パスワード再発行送信
メール

●入カシステムの改善

全体的に「プログラムの構造」、「データ構造」、「セキュリティ強化」、「操作性」等について見直しを行い品質と操作性の向上を図りました。
主な内容は以下の通りです。

	項目	内容
1	プログラムの構造	設計事務所様に改善内容について運用(操作)上影響ありませんの省略いたします。
2	プログラムの構造	
3	セキュリティ強化	①サーバーを上位の新サーバに更新し合わせてOSのバージョンを上げてセキュリティの脆弱性を回避しました。 ②不正入力の抑止チェックを強化しました。
4	操作性	①入力時のエラーチェックの強化とメッセージ表示をわかり易くしました。 ②共通する項目の表示桁数を統一しました。